

(施策評価表20)

【施策番号 I-3-②-1】

取組みの方向性	活力を創る	戦略	【戦略3】地域力を高める ～政令指定都市以外の地域振興を重点的に進めます～	主な施策	◆地域のチャレンジを応援する ～地域づくりへの挑戦に対する支援～
			②地域の現状やニーズを踏まえた地域振興		

1 取組内容	2 主な事業	担当課	H25予算(千円) H24決算(千円)	3 平成24年度の主な成果	4 平成25年度の推進方針・推進状況	5 施策を推進する上での課題	6 今後の方向性
<p>・「政令指定都市誕生後の県内各地域の将来像」に沿って、関係市町村との意見交換を深め、市町村の枠を越えた広域的な取組みを強力に支援します。</p>	地域づくりチャレンジ推進事業 うち「広域連携プロジェクト(スクラムチャレンジ)推進事業」	地域振興課	100,000	<p>・政令指定都市誕生後の県内各地域の将来像(「ビジョン」)で示した6地域のうち、申請のあった「県北地域」、「県東部地域」、「県南地域」、「天草・宇土半島地域」の事業については全て採択し、関係市町村において具体的な広域連携事業が展開されている。</p> <p>・地域振興局単位で広域連携説明会を開催し、機運醸成が図られた。人吉球磨地域で勉強会を開催し、税務、保健及び消費生活分野での連携策の検討体制を整えた。</p>	<p>・ビジョンで想定した6地域において、ビジョンに掲げた「主な取組みの方向性」を踏まえた取組みを支援し、また、地域によっては、県境連携の取組みも支援する。</p> <p>・市町村の広域連携の取組みを支援する。</p>	<p>・ビジョンで描いた「将来像」を実現するためには、県と市町村等が同じ方向に向かって取組みを進めていく必要がある。</p> <p>・合意形成に時間を要する地域づくりの取組み等への支援のあり方を検討していく必要がある。</p> <p>・市町村が主体的に取り組む必要がある。</p>	<p>・市町村の意向なども十分に踏まえながら、地域PTでの議論を活発に展開し、具体の事業を作り込み、ビジョンで想定した6地域全てにおいて、ビジョンで描いた「将来像」を実現するための取組みが着実に展開されるよう進めていく。</p> <p>・複数市町村による機関の共同設置等の広域連携を推進する。</p>
	広域連携支援事業	企画課	18,664				
		市町村行政課	1,105 62				
<p>・住民に直接関わるサービスは10地域振興局で引き続き提供しながら、広域的な取組みを推進する体制を整備します。</p>	広域本部の設置等	人事課	0 0	<p>・H25年4月から県内4カ所〔県北、県東、県南、天草〕に広域本部を設置し、政令市以外の地域振興など広域的な取組みの推進や、機動性及び専門性の向上を図る体制を整備した。更に、鹿本地域では、住民サービスの向上や地域課題への対応力強化を目的として、山鹿市と鹿本地域振興局の行政運営の一体化に取組み、H25年4月から権限移譲や税務等の各種窓口の一元化などを開始した。</p> <p>・スクラムチャレンジについて、ビジョンで示した6地域のうち、申請のあった事業については全て採択し、関係市町村において具体的な広域連携事業が展開されている。</p> <p>・くまもとサプライズぶらすについて、市町村や地域団体等が行う交流人口の拡大や地域資源の活用取組みに対し、全ての地域振興局管内において合計19件の支援を行い、広域的な地域づくりの取組みが展開された。</p>	<p>・広域本部体制の定着、安定的な運営に努めるとともに、地域振興局管内を超えた広域的な地域振興などに取り組んでいく。さらに、①広域性、②専門性、③効率性等の観点から、広域本部で集中処理する業務の峻別を進めていく。</p> <p>・ビジョンで想定した6地域において、ビジョンに掲げた「主な取組みの方向性」を踏まえた取組みを支援し、また、地域によっては、県境連携の取組みも支援する。</p> <p>・くまもとサプライズぶらす事業等により、交流人口の拡大や広域的な地域づくりの取組みを引き続き支援する。</p>	<p>・広域本部内の各地域振興局間の連携強化、更には広域本部間の連携強化を進め、広域的な地域振興、交流人口の拡大につなげていく必要がある。</p> <p>・ビジョンで描いた「将来像」を実現するためには、県と市町村等が同じ方向に向かって取組みを進めていく必要がある。</p> <p>・これまでに「くまもとサプライズ」等により立ち上げられた各地域の実行委員会等による活動が、県民総参加のもと一層県民が主役となり発展し、継続した取組みとなる必要がある。また、新たな地域資源の発見と磨き上げが必要である。</p>	<p>・広域本部が核となって各地域振興局の取組みについて総合調整を行い、広域的な総合行政を提供していくとともに、専門性向上による住民サービスの維持・向上の観点から広域本部での集中処理を拡大する。</p> <p>・市町村の意向なども十分に踏まえながら、地域PTでの議論を活発に展開し、具体の事業を作り込み、ビジョンで想定した6地域全てにおいて、ビジョンで描いた「将来像」を実現するための取組みを着実に展開されるよう進めていく。</p> <p>・各地域の実行委員会等の活動が県民総参加の取組に引き上げられるよう助言や支援を行うとともに、新たな地域資源の発見を促すため、制度の周知を図り、市町村や地域団体との積極的な情報交換や参画を推進する。</p>
	地域づくりチャレンジ推進事業 うち「広域連携プロジェクト(スクラムチャレンジ)推進事業」	地域振興課	100,000				
	地域づくり夢チャレンジ推進事業 うち「くまもとサプライズぶらす事業」	企画課	18,664				
		地域振興課	15,000				
			17,586				
<p>・「全国豊かな海づくり大会」の開催を契機に、水産資源の回復などの取組みを更に推進するとともに、全国規模のイベントの機会を捉え、それぞれの地域が持つ個性豊かな資源や魅力を県内外に発信します。</p>	全国豊かな海づくり大会開催事業	全国豊かな海づくり大会推進課	310,374	<p>・H25年に開催する「第33回全国豊かな海づくり大会～くまもと～」の開催準備を推進するとともに、大会開催の機運醸成を図ることができた。</p> <p>①実施計画を策定したことで、H25年度の円滑な運営ができるようになった。</p> <p>②大会の広報・宣伝に取り組んだ結果、多くの方に大会をPRすることができた。</p> <p>③プレイベントを開催したことで、大会機運の醸成と本大会の検証ができた。</p> <p>・休漁日の設定などを盛り込んだ資源管理計画の作成を漁業者へ指導し、H24年度は新たに牛深の棒受け網など26件の計画が作成された。</p> <p>・八代海、有明海の漁場整備として、覆砂(58ha)や耕うんを実施しアサリ等の資源回復を図った。</p>	<p>・H25.10.26～27日に「第33回全国豊かな海づくり大会～くまもと～」を開催する</p> <p>①歓迎レセプション(熊本市)</p> <p>②式典行事(熊本市)</p> <p>③海上歓迎・放流行事(水俣市)</p> <p>④放流行事(熊本市、天草市)</p> <p>⑤関連行事(熊本市)</p> <p>・休漁日の設定などを盛り込んだ資源管理計画の作成を漁業者へ引き続き指導し、資源管理型漁業を推進する。</p> <p>・八代海、有明海の漁場整備として、覆砂や耕うんを実施しアサリ等の資源回復を図る。</p>	<p>・熊本らしい大会の開催として、①放流行事開催市との連携、②熊本の魅力あふれる演出にする必要がある。また、大会の認知度を向上させる必要がある。</p> <p>・水産資源の回復と持続的利用を図るため、漁業者が主体となり水産資源を管理する資源管理型漁業や、健全な種苗の放流による栽培漁業を一層推進する必要がある。</p> <p>・より効果の高い覆砂材や覆砂に替わる漁場造成方法の探索が必要である。</p>	<p>・大会基本理念(有明海、八代海、天草灘で営まれている本県の特徴ある水産業の魅力と水俣の海の再生を情報発信するとともに、豊かな海を育む取組みを推進する。)に沿って大会を成功させる。</p> <p>・資源管理型漁業と栽培漁業を推進するとともに、漁場生産力向上のための漁場造成を行い水産資源の維持・増大を図る。</p>
	全国豊かな海づくり大会開催準備事業		39,354				
	みんなで育てる豊かな海づくり事業	水産振興課	201,880				
			209,018				
	水産環境整備事業	漁港漁場整備課	450,300				
			551,532				
<p>主な施策のまとめ</p>				<p>●政令指定都市誕生後の県内各地域の将来像(「ビジョン」)で示した6地域のうち、スクラムチャレンジの申請事業を全て採択。</p> <p>●政令市以外の地域振興など広域的な取組みの推進や、機動性及び専門性の向上を図る体制としてH25.4から県内4カ所〔県北、県東、県南、天草〕に広域本部を設置し、政令市以外の地域振興など広域的な取組みの推進や、機動性及び専門性の向上を図る体制を強化。</p> <p>●H25年に開催する「第33回全国豊かな海づくり大会～くまもと～」の開催準備を推進し、大会開催の機運醸成。</p>	<p>●ビジョンで想定した6地域において、ビジョンに掲げた「主な取組みの方向性」を踏まえた取組みを支援。</p> <p>●広域本部体制の定着、安定的な運営に努めるとともに、地域振興局管内を超えた広域的な地域振興等を推進。</p> <p>●H25.10.26～27日に「第33回全国豊かな海づくり大会～くまもと～」を開催。</p>	<p>●ビジョンで描いた「将来像」の実現のため、県と市町村等が同じ方向に向かった取組みの推進。</p> <p>●合意形成に時間を要する地域づくりの取組み等への支援のあり方の検討。</p> <p>●地域間の交流を促し、より広域的な連携をするには、市町村や地域振興局管内を超えた広域的な推進体制整備の強化。</p> <p>●熊本らしい海づくり大会に向けた放流行事開催市との連携、熊本の魅力あふれる演出と大会の認知度向上。</p>	<p>●ビジョンで描いた「将来像」を実現する取組みを着実に展開。</p> <p>●広域本部の統括のもと、地域密着性と広域機動性及び専門性を兼ね備えた、地域を支える総合力のある体制を整備。</p> <p>●有明海、八代海、天草灘で営まれている本県の特徴ある水産業の魅力と水俣の海の再生の情報発信。</p> <p>●豊かな海を育む取組みの推進。</p>